

陸前高田市

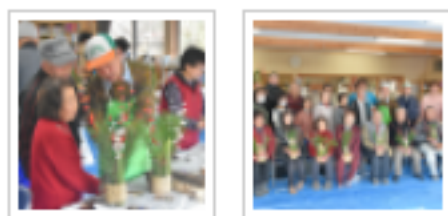


令和元年12月25日付 6面

新年迎える門松制作 陸前高田でイベント 開催（別写真あり）



▲ 参加者が個性豊かなミニ門松を制作



陸前高田市のNPO法人・陸前たかだ八起プロジェクトは22日、小友町のモビリア仮設住宅北集会所で「ミニ門松づくり」を開いた。参加した地域住民らが彩り豊かな材料を用いてミニ門松を制作し、新年を迎える準備をした。

ミニ門松づくりは東日本大震災後、東京都の一般財団法人・高度映像情報センター（AVCC）が支援し、大船渡市末崎町でスタート。同町で竹細工の楽しさを伝える団体・どこ竹三鷹inまっさき（村上正吉代表）が講師を務めている。

今回は、同町での取り組みを視察した同NPO法人が、周辺住民の心のつながりを深める機会にしようと、イベント開催を企画。同団体の村上代表を含む3人が講師となり、仮設住宅やその周辺の地域住民ら約30人が参加した。

参加者たちは、土台となる竹を3本立てたあと、松葉や色鮮やかな飾りをさしてミニ門松を制作。参加者同士で作り方を教え合う姿も見られ、会場は和やかな雰囲気にも包まれていた。

モビリア仮設住宅に3年ほど入居していたという吉田チヨ子さん（80）は「ここに集まる人たちはまるで家族のような存在。つながりが深い人たちと一緒に作業できて、とても楽しかった」と笑顔で話していた。

ミニ門松づくりは同日、大船渡市赤崎町の蛸ノ浦地区公民館でも行われた。